

高岡の「気まぐれ写真」展Ⅱ

令和3年11月29日 記:高岡一人

前回「気まぐれ写真展」を出稿してから早いものでもう8ヶ月が経とうとしている。

なかなか気に入った写真が撮れないので出稿は手当たり次第にということにさせていただくことにしました。

必ずしも新作ばかりではありません。数年間、撮りためたものからの出稿です。今回のテーマは「秋」です。



1. 秋

(1) 紅葉に陽光(宇甘溪)



秋といえば紅葉。

最近訪れた宇甘溪で紅葉した樹を見上げると眩しい太陽に照らされて輝いていた。



(2) 群落の先へ(蒜山高原)



秋といえばススキの群生も何か郷愁を誘う美しさがある。さあ、この先へ向かって進むよ。

単線単車(姫新線久世付近)



枯れすすきの中を走る1両の気動車。郷愁を誘うという意味では同じ秋の風景か？

(3) 黄葉と紅葉



”コウヨウ”は同じ音でもこれほど違う。ただ互いが相手を引き立てあう存在であることを疑う余地はない

(4) 秋華誇る

彼岸花



秋に咲く花は数あれど「時は来たぞ」と今を忘れず毎年計ったように咲き誇る

コスモス



こちらも秋の定番

(5) 秋祭り

準備 OK



祭となると子供たちは皆元気だ。今日は一段と熱が入っている

ワッショイ前



今は静かに進行中。この後の大暴れの準備万全か？

(6)名月や見る者ごとに姿変え

十六夜の月



月を眺める人はそれぞれに月に希望を馳せて眺めるのですよ

月食



21 年は月食がありましたね(11/19)最も欠けた(98%)時の月